平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 414 ※記入不要	提案機関名	三浦半島自然保護の会

要望問題　止水系環境の適正な保全管理について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

三浦半島には大小６０余の農業用灌漑用水池がありましたが、平坦部の開発による埋立、稲作の衰退に伴う水田の消滅によってこれら灌漑用水池は、不要にして危険な水環境と化し、ほとんど放棄された状態に置かれています。行政の主管課である農林部、農水課などでは、子供の溺死事故を恐れて柵を巡らせて立入禁止とし、水門を開いて放水しています。

そこで多くの野生生物にとって貴重な止水生態系としての自然は壊滅し、陸地化、乾燥化し、植生の遷移が進行して、まさに「荒廃した自然」と化しています。現今、流水系としての河川の自然生態系や、人との親和性については、その必要性への認識が高まり「生き物に優しい川作り」が「近自然型或いは多自然型工法」などの採択によって生態系としての機能を着々と高めております。これにくらべ、止水生態系としての池沼は衰退減亡の一途をだどっており、既に生活の場としての機能を失って絶滅した種類が続出しています。

この遊休放棄された灌漑用水池を止水系の環境要素として、人びとの憩いや癒しの場として、次世代を担う子供の優れた遊びの場、自然体験学習の教室として、或いは野生の生き物たちの種の多様住の確保や、遺伝子の担保のために活性化することを研究して欲しいと要望します。遅ればせながらそのための基礎的研究や試験的試みを是非具体化して下さい。４９年のキャリヤーを持つ私ども三浦半島自然保護の会（第１回神奈川環境文化賞受賞）

でも、幾つかの腹案を持っています。今までも地元自治体に機会あるごとに提言していますが、所管部局のセクショナリズムで具体化していません。

ごく一部は公園部局の所管になり、水辺公園化していますが事故を恐れるビューロクラシイから、ベカラズの多い、見るだけの公園化しています。農水省の助成を受けた「農業環境改善事業としての水辺公園～横須賀市長井の轡堰はその典型で市民無視、野生無視の権化です。本質を問いただすとともに、人にも野生にも存在意義の高い止水生態環境の復元を計ってください。私どもも協力を借しみませんので．．．

解決希望年限	①１年以内　**②２～３年以内**　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　**③共同研究**　④その他
対応を希望する研究機関名	**①農業総合研究所**（ ②根府川試験場　**③三浦試験場**　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） **⑨自然環境保全センター**

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部
部　　署：森林保全グループ	
対応区分	①実施 ②実施中 **③継続検討** ④実施済 ⑤調査指導対応 **⑥現地対応** ⑦実施不可
試験研究課題名　（①、②、④の場合）	

対応の内容等

要望について非常に重要と認識しているが、分野が広範囲にわたるため、課題解決には専門性を有する機関の共同研究として対応することが必要となる。現状では調査団方式による総合調査として実施することが望ましいことから、継続して実施に向けた仕組みの検討を行い、課題設定の可能性を探りたい。なお、個別での当センターに関連する問題については、現地対応により実施したい。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	